


Dell EMC Operations Connector for Micro Focus Operations Bridge Manager バージョン 2.0

ユーザーズガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 - 2019 Dell Inc. その関連会社。 All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 はじめに.....	4
2 主な機能.....	5
3 トポロジーの収集と転送.....	6
Dell EMC デバイスの表示.....	6
Micro Focus OBM コンソールのデバイス属性.....	6
Topology Integration で使用されるマッピング.....	6
4 イベントの収集と転送.....	8
OME と Micro Focus OBM でのイベント マッピング.....	8
デバイス イベントの表示.....	9
5 ノード数の収集と転送.....	10
ノード数 イベントの表示.....	10
6 Micro Focus OBM からの OME コンソールの起動.....	11
ノードからの OME コンソールの起動.....	11
イベントからの OME コンソールの起動.....	11
7 設定.....	12
Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector タスク スケジューラー.....	12
Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 のポリシー.....	12
8 トラブルシューティング.....	13
9 Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector のライセンス.....	14
10 Dell EMC サポート サイトからのドキュメントへのアクセス.....	15

はじめに

Dell EMC Operations Connector for Micro Focus Operations Bridge Manager (OBM) は、OpenManage Essentials または OpenManage Enterprise (OME) を Micro Focus OBM に統合します。Operations Connector for OpenManage Enterprise または OpenManage Essentials は、OpenManage Enterprise または OpenManage Essentials からイベントやトポロジーに関するシステム管理データを収集して Micro Focus OBM に転送するため、システム管理者や IT 管理者がデータセンター内の Dell EMC デバイスを包括的に把握するために役立ちます。また OME を Micro Focus OBM 環境から直接起動できるので、Dell EMC デバイスの活動に関するトラブルシューティング、構成、管理タスクに利用できます。

Operations Connector を使用して、Dell EMC デバイスのライフサイクル管理用の OME 環境と Micro Focus OBM 中の Business Service Management を接続することができますが、これは次の操作が必要です。

- ・ OME から Micro Focus OBM へのトポロジー情報の同期
- ・ OME から Micro Focus OBM へのイベント情報の同期

Operations Connector for OME のインストーラー、インストール ガイド、リリース ノートは、自己解凍実行ファイルである **Dell EMC_OpenManage_Operations_Connector_Micro_Focus_OBM_v2.0_A00.exe** ファイルにパッケージ化されています。このバージョンの Operations Connector for OME をインストールする前に、dell.com/openmanagemanuals または dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement から最新のマニュアルをダウンロードしておくことをお勧めします。

本書では、Micro Focus OBM コンソールを使用してデバイスを表示および監視するための、イベントのアクティブ化、トポロジーポリシーの機能を備えた、Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM の使用方法について説明します。

主な機能

次の表は、Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM バージョン 2.0 の主要機能の表です。

表 1. 主な機能

特長	機能
トポロジーの収集と転送	Operations Connector for OME は、デバイス トポロジーを OME から収集し、Micro Focus OBM で使用できるようにします。詳細については、「 トポロジーの収集と転送 」を参照してください。
イベントの収集と転送	Operations Connector for OME は、OME からイベントとアラートを収集し、Micro Focus OBM で使用できるようにします。詳細については「 イベントの収集と転送 」を参照してください。
ノード数の収集と転送	Operations Connector for OME は、各トポロジー タスク スケジューラー サイクル後に OME から収集されたノードの総数を収集し、Micro Focus OBM で使用できるようにします。詳細については、「 ノード数の収集と転送 」を参照してください。
特定ノードの OME コンソールの起動	Operations Connector for OME では、Micro Focus OBM コンソールのノードから OME コンソールを起動できます。対応するデル デバイスのトラブルシューティングと管理に有効です。詳細については、「 ノードからの OME コンソールの起動 」を参照してください。
イベント用の OME コンソールの起動	Operations Connector for OME では、Micro Focus OBM コンソールのイベントから OME コンソールを起動できます。対応するデル デバイスのトラブルシューティングと管理に有効です。詳細については、「 イベントからの OME コンソールの起動 」を参照してください。

トポロジーの収集と転送

Operations Connector for OME は、次の手順で、OME から Micro Focus OBM にトポロジー情報を同期します。

1. トポロジー情報は REST API を使用して OME から収集されます。
2. Operations Connector for OME では、REST API によって収集されたトポロジー情報は XML ファイルに保存されます。
3. Topology Integration ポリシーは、保存されたトポロジー情報を処理してから Micro Focus OBM に転送します。

OME トポロジーの構造は、Micro Focus OBM の同等の構造にマッピングされます。Operations Connector は、OME からオブジェクトのスコープを収集し、Dell EMC デバイスに依存する Micro Focus OBM にインポートします。最初のトポロジーの収集と転送のプロセスが完了すると、インポートされたすべてのデバイスとその基本プロパティを Micro Focus OBM コンソールで表示できます。

メモ: OME でノードを削除しても、Micro Focus OBM 内ですぐに同期されません。

メモ: Micro Focus OBM でノードや関係に対して明示的に行われた変更は、OME のノードには影響しません。

メモ: Micro Focus OBM で特定のノードを監視しない場合は、OME で除外フィルターにノードを追加するか、OME からノードを削除します。

トピック：

- ・ [Dell EMC デバイスの表示](#)
- ・ [Topology Integration で使用されるマッピング](#)

Dell EMC デバイスの表示

メモ: Dell EMC デバイス用のカスタム ビューを作成してください。カスタム ビューの作成方法の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](#) にある『[Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM Installation Guide](#)』（[Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM インストール ガイド](#)）を参照してください。

1. **Micro Focus OBM** コンソールを起動します。
2. [ワークスペース] > [Operations コンソール] > [イベントの状況] の順にクリックします。
3. [View Explorer] で、ユーザー定義ビューを選択します。
Micro Focus OBM コンソールでは、OME の下にグループ化されたすべての Dell EMC デバイスを表示できます。

Micro Focus OBM コンソールのデバイス属性

以下は、Dell EMC デバイスに対して OME から Micro Focus OBM コンソールに収集されたデバイス属性です。

- ・ BIOS 資産タグ
- ・ 表示ラベル
- ・ 監視元
- ・ 名前
- ・ ノード モデル
- ・ OS 概要
- ・ プライマリー DNS 名
- ・ プライマリー IP アドレス
- ・ シリアル ナンバー

Topology Integration で使用されるマッピング

OME コンソールのデバイス タイプに対応する Micro Focus OBM コンソールの CI タイプは次のとおりです。

表 2. OMEnterprise デバイス タイプ - Micro Focus OBM CI タイプ

OMEnterprise デバイス タイプ	Micro Focus OBM CI タイプ
サーバー	ノード
シャーシデバイス	シャーシ
Dell ストレージ	ストレージアレイ
ネットワークスイッチ	スイッチ
ネットワーク IO モジュール デバイス	ノード
ストレージ IOM デバイス	ノード

表 3. OMEssential デバイス タイプ - Micro Focus OBM CI タイプ

OMEssential デバイス タイプ	Micro Focus OBM CI タイプ
その他	ノード
CMC	シャーシ
テープ	ストレージアレイ
EMC	ストレージアレイ
MD ストレージ	ストレージアレイ
EqualLogic グループ	ストレージアレイ
EqualLogic メンバー	ストレージアレイ
Dell Compellent	ストレージアレイ
NAS アプライアンス	ストレージアレイ
Dell Networking	スイッチ
FC スイッチ	スイッチ

イベントの収集と転送

Operations Connector for OME は、次の手順で、OME から Micro Focus OBM にイベント情報を同期します。

1. イベント情報は REST API を使用して OME から収集されます。
2. Operations Connector for OME では、REST API によって収集されたイベントは XML ファイルに保存されます。
3. Event Integration ポリシーは、保存されたイベント情報を処理してから Micro Focus OBM に転送します。

① **メモ:** ドメイン マネージャーに存在するノードとアラートの数が多い場合は、**OBM コンソールで最初の同期中にすべてのアラートを処理して表示するのに時間がかかることがあります。**

各デバイスに関連付けられているすべてのイベントを表示できます。解決が必要なアクティブなイベントの概要も表示されます。

OME 内のイベントの状態に対応する Micro Focus OBM コンソールのイベントの状態は、次のとおりです。

表 4. OME と Micro Focus OBM のイベント ステータス

OME の状態	Micro Focus OBM の状態
未承認	オープン
承認済み	クローズ

トピック：

- ・ OME と Micro Focus OBM でのイベント マッピング
- ・ デバイス イベントの表示

OME と Micro Focus OBM でのイベント マッピング

OME 内のイベントの正常性状態に対応する Micro Focus OBM コンソールのイベントの正常性状態は、次のとおりです。

表 5. OME と Micro Focus OBM でのイベント マッピング









OME のイベント	Micro Focus OBM のイベント
 図 1. 正常イベント アイコン	 図 2. 正常イベント アイコン
 図 3. 情報イベント アイコン	 図 4. 情報イベント アイコン
 図 5. 警告イベント アイコン	 図 6. 警告イベント アイコン
 図 7. 重要イベント アイコン	 図 8. 重要イベント アイコン



図 9. 不明イベント アイコン




図 10. 不明イベント アイコン

デバイス イベントの表示

1. **Micro Focus OBM** コンソールを起動します。
2. [ワークスペース] > [イベントの状況] の順にクリックします。
3. [**View Explorer**] で、ユーザー定義ビューを選択します。
Operations Connector for OME で監視されているデバイスがリストされます。
4. デバイスをクリックします。
選択したデバイスに関連するイベントが [イベント ブラウザー] ウィンドウにリストされます。

ノード数の収集と転送

すべてのトポロジー収集と転送サイクルの完了後、Operations Connector for OME は、OME から収集したノード数をカウントして Micro Focus OBM に転送します。Operation Connector for OME は、ノード数情報を情報イベントとして Micro Focus OBM に転送し、[イベントの状況] で表示できるようにします。

 **メモ: Node Count** ポリシーがアクティブになっているようにしてください。

トピック :

- ノード数イベントの表示

ノード数イベントの表示

ノード数情報を表示するには、次の手順を実行します。

1. **Micro Focus OBM** コンソールを起動します。
2. [ワークスペース] > [イベントの状況] の順にクリックします。
3. ノード数メッセージを表示するには [**View Explorer**] の下にある Operations Connector ノードを選択します。
4. ノード数イベントの詳細を表示するには、ノード数イベントを右クリックして、[**プロパティ**] をクリックします。
[イベントの詳細] ウィンドウには、アプリケーション、オブジェクト、ポリシー名などの基本情報が表示されます。

Micro Focus OBM からの OME コンソールの起動

Operations Connector for OME では、ノードとイベントから OME コンソールを起動できます。OME コンソールを起動すると、Dell EMC デバイスの活動のトラブルシューティング、構成、管理を行うことができます。

OME コンソールを起動するには、Micro Focus OBM で OME URL ツールを設定します。詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](https://www.dell.com/openmanagemanuals) にある『Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector Installation Guide』(Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector インストール ガイド) の Micro Focus OBM コンソールでの OME URL ツールの設定に関するセクションを参照してください。

トピック：

- ・ [ノードからの OME コンソールの起動](#)
- ・ [イベントからの OME コンソールの起動](#)

ノードからの OME コンソールの起動

Micro Focus OBM で選択したノードの OME コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

1. **Micro Focus OBM** コンソールを起動します。
2. [ワークスペース] > [イベントの状況] をクリックします。
3. [ビューの参照] で、作成したビューを検索します。
4. ノードを右クリックして、[ツールの起動] を選択します。
5. OME コンソール起動ツールを選択し、[次へ] をクリックして、[実行] をクリックします。
OME コンソールが正常に起動されます。

イベントからの OME コンソールの起動

Micro Focus OBM で選択したノードの OME コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

1. **Micro Focus OBM** コンソールを起動します。
2. [ワークスペース] > [イベントの状況] をクリックします。
3. イベントを右クリックし、[起動] > [ツール] を選択します。
4. OME コンソール起動ツールを選択し、[次へ] をクリックして、[実行] をクリックします。
OME コンソールが正常に起動されます。

Operations connector for OME を設定するには、次の手順を実行します。

- ・ Operations Connector タスク スケジューラーで、トポロジーとイベントを統合します。詳細については、「[Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector タスク スケジューラー](#)」を参照してください。
- ・ Operations Connector ポリシーをアクティブ化します。詳細については、「[Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 のポリシー](#)」を参照してください。

Operations connector for OME のインストールと設定の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](#) にある『Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector Installation Guide』(Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector インストール ガイド) を参照してください。

トピック：

- ・ [Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector タスク スケジューラー](#)
- ・ [Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 のポリシー](#)

Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector タスク スケジューラー

Operations Connector for OME では、次の 2 つのタスク スケジューラーが利用できます。

- ・ Dell EMC Topology Scheduler - OME からトポロジー情報を収集します。
- ・ Dell EMC Event Scheduler - OME からイベント情報を収集します。

タスク スケジューラーを実行すると、OME からシステム管理データが収集されます。タスク スケジューラー パラメーターの設定の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](#) にある『Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector Installation Guide』(Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector インストール ガイド) を参照してください。

Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 のポリシー

Operations Connector for OME では、次のポリシーを利用できます。

- ・ **Topology Integration** ポリシー：
OME から Micro Focus OBM へのデバイス情報の同期
- ・ **Event Integration** ポリシー：
OME から Micro Focus OBM へのイベント情報の同期
- ・ **Node Count Information** ポリシー：
Operations connector for OME が収集したノード数を表示します。

表 6. Operations Connector for OME のポリシー

ポリシー	説明
Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 : Topology Integration	OME で検出されたデバイスを Run-time Service Model (RTSM) に統合します。
Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 : Event Integration	OME で使用可能なイベント情報を Micro Focus に送信します。
Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0 : Node Count Information	OME から収集されたノードのノード数情報を含むイベントを送信します。

トラブルシューティング

本項では Operations Connector for OME の使用中に発生する可能性がある問題とその解決策をリストします。

エラーシナリオは次のとおりです。

タイムゾーンが UTC より 4 時間遅れている場合に、作成時間フィールドのタイムスタンプが正しく表示されない

タイムゾーンが UTC より 4 時間遅れている場合に、OBM コンソールの Dell EMC イベントのタイムスタンプと OME コンソールの Dell EMC イベントとの間の差が 1 時間と表示されます。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. [**Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0–Event Integration**] ポリシーをダブルクリックします。
[**ポリシーエディター**] ウィンドウが開きます。
2. [**デフォルト**] タブ、[**イベント属性**] の順にクリックします。
3. [**作成時間**] フィールドで、デフォルト値の `<CDATA:/event/Time>` を `<CDATA:/event/Time> -3` に変更します。
4. [**保存**] をクリックします。
5. [**Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM v2.0–Event Integration**] ポリシーを右クリックし、[**アクティブにする**] をクリックします。

Event Integration ポリシーがアクティブになります。

ポリシーがアクティブになると、Micro Focus OBM コンソールに転送されるイベントに正しいタイムスタンプが表示されます。

デバイス、イベント、ノード数の情報が Micro Focus OBM コンソールに表示されない

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. 次の Operations Connector for OME ポリシーもアクティブにするようにしてください。
 - ・ Topology Integration ポリシー
 - ・ Event Integration ポリシー
 - ・ Node Count Information ポリシー
2. タスク スケジューラーを実行します。

Micro Focus OBM を使用して OME コンソールを起動できない

OME URL が次の形式であることを確認します。 `https://<OME IP address or OME FQDN>:<OME Port Number>`

Micro Focus OBM コンソールでの OME URL ツールの作成の詳細については、[Dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals) にある『*Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM Installation Guide*』(Dell EMC OpenManage Operations Connector for Micro Focus OBM インストール ガイド) の Micro Focus OBM コンソールでの OME URL ツールの設定に関するセクションを参照してください。

Dell EMC OpenManage Micro Focus OBM Operations Connector のライセンス

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

必要なドキュメントに、次のリンクを使用してアクセスできます。

- ・ Dell EMC エンタープライズシステム管理のドキュメント — www.dell.com/esmmanuals
- ・ Dell EMC OpenManage のドキュメント — www.dell.com/openmanagemanuals
- ・ Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理のドキュメント — www.dell.com/esmmanuals
- ・ iDRAC および Dell Lifecycle Controller のドキュメント — www.dell.com/idracmanuals
- ・ Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理のドキュメント — www.dell.com/esmmanuals
- ・ Dell EMC 保守ツールのドキュメント — www.dell.com/serviceabilitytools
- ・ 1. www.dell.com/support へ進みます。
- ・ 2. **すべての製品を参照** をクリックします
- ・ 3. **すべての製品** セクションで **ソフトウェアおよびセキュリティ** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - ・ 分析
 - ・ クライアントシステム管理
 - ・ エンタープライズアプリケーションです。
 - ・ エンタープライズシステム管理
 - ・ 公共機関向けソリューション
 - ・ ユーティリティ
 - ・ メインフレーム
 - ・ 保守ツール
 - ・ 仮想化ソリューション
 - ・ オペレーティングシステム
 - ・ サポート
- ・ 4. ドキュメントを表示するには、必要な製品をクリックしてから、必要なバージョンをクリックします。
- ・ 検索エンジンを使用します。
 - ・ 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。